

波紋



防災意識を高め 自助・共助を

横浜市瀬谷区

川井 三枝子

1日、地元の防災訓練に参加しました。集合場所は中学校の体育館で今回初めて「段ボ

ールベッド」の組み立てを行いました。災害時における段ボールベッドの活用は市議会公明党の実績で、私は見るのは初めてでした。

実際、組み立てを手伝ってみて、これがいかに優れ物か分かりました。まず、重さが軽く簡単に組み立てができます。さらに、収納する際も場所をとりません。機能的な防災用品を導入する公明党の視点はさすがだと思いました。

私の母は4歳のころ、関東大震災で最も被害がひどかった東京都墨田区で柱の下敷きになり、九死に一生を得ました。

私自身、日ごろから「自助・共助」への心配りをしています。こうした「公助」を目で確認することができ、さらなる「防災・減災」に取り組んでいこうと決意を新たにしました。